

## 平成 27 年 10 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

10月の業種別景況のDI値は、13業種の内1業種のみが悪化、他12業種は好転または横ばいの結果となり、前年10月よりも好転している状況である。

「ねんりんピック」の経済効果は、食料品、サービス業で好影響となったが、小売業、商店街ではあまり効果が出なかった模様である。受注状況は繊維工業、一般機器、輸送機器の一部では好調を維持しているが、建設業では発注量が減少し、仕事量が減っている地区もある。また、あらゆる業種で人材不足が継続し深刻化している。

### 山口県の主要指標 DI 値（平成 27 年 10 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 6.3% 悪化：25.0% DI 値：▲18.7% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加： 13.8% 減少：27.5% DI 値：▲13.7% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 8.8% 悪化：20.0% DI 値：▲11.2% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 27 年 10 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲42.9	▲25.0	▲33.3	▲50.0	▲16.6	▲11.1	50.0	▲21.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	全非製造業
▲40.0	▲22.2	▲50.0	0.0	▲10.0	▲14.3	▲17.0
						

全体
▲18.7


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	ねんりんピックの売上は、会場より公共交通機関の売店の方が良かった。	パン・菓子製造業 小野田市
	10月は土日、祝日が多かったので売上が減少したと思われる。	パン・菓子製造業 下関市
	9月はシルバーウィークもあり前年同月比で25%アップと驚異的な業績となった。10月は平日の売上が高水準で推移しており10月23日時点で昨年同時期15%程度のプラス。ただし今後は、大河ドラマ効果も徐々に薄れると予測しており、売上減少を食い止める方策をいくつか実施の予定。	水産食料品製造業 萩市
	販売量の減少が続いており厳しい。業界によっては景気の回復の話も聞くが、小売業は売上也マイナスとなっているのではないか。今年も原料が上がっているが、価格転嫁は非常に難しい。ういが少ないのもあるが、漁業者が高齢化しており、県内産のういが獲れない。	水産食料品製造業 下関市
	円安のため、原材料の価格が上昇している。	
長雨の影響で稲の生育が遅れたため、収穫作業も遅れ気味となった。山口県の稲作の作況指数は97で確定し、例年に比べ収穫不足で、JAの概算金が昨年より若干上がったが、米価が回復傾向とはいいがたい。TPPの交渉が大筋合意となり、農業は更に厳しい状況になると予想される。昨今の米あまり基調の中で、米価下落に歯止めがかかるかどうか不透明な状況にあり、今後も米の価格動向について注視していきたい。	精穀・製粉業	
繊維工業	主力販売取引先の受注増（新製品作り込みの追加生産）により来年2月末まで受注あり。10月～12月の操業日数を6日間増やし増産体制をとっているが、プラスで日々1時間（時に2時間）の残業も行っている。更に来年1～3月も操業日数を増加する予定でいる。外国人技能実習生は、現在、中国人43名、ベトナム人13名の計56名。10月に中国人4名帰国、11月にベトナム人6名来日、2月もベトナム人の来日を予定している。ベトナム人実習生の通訳に困っており通訳専門スタッフを11月より試行採用の予定。	下着類製造業
	5月末破産企業の萩市小川にある工場は岡山県の会社を買取り、11月初めより稼働を開始。	外衣・シャツ製造業 山口市
	消費者の購買力の低下により受注が減少している。	外衣・シャツ製造業 下関市

木材・木製品	新設住宅着工数は前年同月よりやや増加したが、木材価格に変動はない。	製材業・木製品製造業 山口市
	昨年の状況（売上高が全体的に減少）と変化はない。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	受注量の絶対数は減少傾向にある中で、昨年よりは多少受注が多い模様である。10月はカレンダーの作成・納品時期で、まあまあ忙しくしている。	印刷 下関市
	10月は9月の受注残でしのいだが、受注件数の減少により11月以降が心配。	印刷 山口市
窯業・土石製品	全体的に出荷量が減っている。年末にかけて出荷量の増加に期待している。 (平成26年10月) 骨材105%、路盤材165%、再生材194% ↓ (平成27年10月) 骨材98%、路盤材86%、再生材66%	砕石製造業
	出荷量は前月比115%、前年同月比109%。現時点、セメント・骨材等の資材調達に特に問題は生じていない。下関地区は、値上げ交渉を続けている。	生コンクリート製造業
	山口県ではうるう年になると、お墓を建てるのを控える傾向が強い。うるう年を来年に控え例年だと駆け込みの注文が入る時期ではあるが、受注件数も減少傾向にある。組合員の中にはただでさえ落ち込んでいる仕事量が、来年更に激減することを懸念する声も出ている。	石工品製造業
一般機器	組合全体の景況は前月に引き続き概ね不変。自動車関連で受注が低調な組合員もあるが、年末に向かって上向きの傾向。現在はマイナンバーについてコンピュータや紙での活用など、それぞれ取り組みを進めている。	一般機械器具製造業 防府市
	引き続き機械検査関係企業の受注状況の陰りがみられる。中国の景気動向に左右されているとの情報もあり、長期か短期かの見極めが大事である。その他の業種は、食品加工、スーパー、農業、食肉加工業、溶接関係、惣菜も人手不足で、外国人技能実習生を増員する相談がある。又、制度改正がおくれていることにより、介護施設からの問い合わせが増えている。	一般機械器具製造業 宇部市
	前年同月比で売上高は微増している。前月と同様で推移している。	一般機械器具製造業 宇部市
	金型の生産設備操業度は9月よりは上昇。10月上旬の短納期の受注に中旬以降残業を含め対応しており、11月はさらに忙しくなると予測。受注先から短納期、低価格化を要求され対応せざるを得ない状況だが、来期に向けての受注も増やさなければなら	特殊産業用機械製造業

	ない。成形製品の生産設備稼働率は上昇傾向にあるが、民生部品（家電部品、電子部品）の受注量が変動し売上が増減する状況が続いている。	
輸送機器	鉄道車両関連は受注が上昇傾向だが、コスト削減・原価低減要請が厳しいため、収益増とはなっていない。精密加工、プラント部門とも受注が低調で作業量も踊り場状態以下の水準で、明るい兆しが見えない。	鉄道車両・同部品製造業
	人材不足が継続中。	船舶製造・修理業
卸売業	“いりこ”の不漁で在庫が少ない。売上の減少が続く、経費の削減に努めている。景気回復の兆しも見えない。	乾物卸売業
	ふぐ、魚両方が品薄で原材料が高騰しており、売上は増加しているが、収益は悪化している。	生鮮・魚介卸売業
小売業	組合員の売上は良い店もあれば悪い店もあり、前年度同等か微減となっている。また、取扱のメーカーにも左右されるが、県内では東方面の売上が良く、西方面が売上が厳しい模様である。全体的な業況では、大きな変化はない。	化粧品小売業
	この時期は近隣農家が新米を配るため、米穀店の売上が大幅に落ちる。消費者数の減少で小売業の売上は伸びず、商店街にも活気が無く、特に明るいニュースは無い。地区の中小企業者の動向は、製造業では、海外生産を引き上げた企業からの受注で、売上は増加しているが仕入れ単価も上昇しているので利益はそれほど出ていない。建設業では、昨年4月からの米軍基地関連工事に人手がとられ慢性的な人材不足が続いており、売上は昨年並みを確保できたが先の状況は厳しい見通し。	各種商品小売業 岩国市
	中旬までは前年同月比プラスで推移してきたが、中旬以降は天気が続き、特に婦人衣料品の秋冬物が不調の模様で、前年同月比マイナスとなった。	各種商品小売業 山口市
	酒のディスカウント店の出店に伴い、9月までは売上客数とも前年を上回っていたが、10月に入り、売上は前年を僅かに下回る状況で、既存店舗の売上減が目立つ月となった。	各種商品小売業 長門市
	面接にも来ない状況の人材不足である。	各種商品小売業 下関市
商店街	第2回目のプレミアム商品券の発行を機に売上の増加を狙ったが苦戦している。ねんりんピック参加者の来街は少なく売上の増加には結びつかなかった。これからのイベントに売上と来街者数の増加を期待している。	山口市

	10月は売上高が増加した店は無い。イベントも実施したが好影響は無かった。	萩市
サービス業	岩国駅前アーケード界隈の空きスペースに、少しずつ色々な業種のお店が出店しているが、商店街の出入が少なく、売れているようには思われぬ。消費税増税後、徐々に物価が上昇していると思われ家計を圧迫し、年金支給月にも関わらずカットをしない等、節約意識が高まっているように思う。	美容業
	理容業界も依然として厳しい環境のもと、高齢化、後継者等で組合員数の減少に伴い組合未加入者に組合加入促進に努めている。	理容業
	将来の自動車整備人材の確保が危惧されているが、近年、自動車整備士試験の申請者数が減少している。10月に実施した整備士試験では、県内の申請者数は過去最低数（10年前と比較して4割減少）であった。	自動車整備業 山口市
	自動車のハイテク化により高度な技術・設備等が必要となり、対応できる人材が不足している。若者の定着率が低かった為に技術者も高齢化して、益々人手不足となり後継者のいない事業所が多く、深刻化している。	自動車整備業 山口市
	少額投資で20代～60代女性向け少人数ヨガ教室を始め、現在は無料体験を実施中である。結果を求めていきたい。	スポーツ・健康教授業
	今月もねりんピックをはじめ、イベントが続き好調に推移した。宿泊人員及び販売額とも対前年同月比で110%超えとなった。	旅館業 山口市
	ねりんピックの好影響もあり、前年度に比べて若干、売上高の増加した施設が多くみられた。なお、雇用については例年通りで営業している施設と人手不足が悪化している施設もある状況。	旅館業 下関市
	ねりんピック等のイベントが有り、売上は1割増となった。水道光熱費等管理費は減少しているが、賃金アップを実施したため給与等は前年同月比で6%の増額となった。	旅館業 長門市
	当組合の記念イベント「大抽選会」は応募者数の目標を1割以上クリアし、まずまずの手応え。11月5日に抽選会を行い、お客様に賞品を贈呈することになるが、どれだけフィードバックがあるか楽しみな展開となった。“花燃ゆ”効果は萩、山口、防府に限定されたもので下関、美祿、岩国等には恩恵はない様子で、特に話題が群馬に移ってからは火が消えた様子となり、年末の防府まで話題が持つか心配である。萩では世界遺産効果が出始め、新たな目玉になりつつあり、明治維新150年記念事業の前哨戦	飲食業

	<p>になっている。この事業は全県で取り組めるテーマで、県下各支部の自力によるイベントの実施で客足に弾みが付ければと思っている。消費税10%を間近に控え、何かをしようでなく今から始める気合が必要だ。</p>	
	<p>朝晩は寒さを感じるようになったが、日中は半袖で過ごせるくらいの陽気が続き、衣替えがなかなか進まない状況。また数年前から10/1に一斉に冬服へという衣替えがなくなり、消費者の「クリーニングに出さなければ」という意識が減ってきている模様。夏から秋に季節が変わる衣替えシーズンで、春ほどではないが繁忙期のはずのクリーニング業界だが、以前ほどの繁忙期というものが業界全体でなくなっている。</p>	普通洗濯業
建設業	<p>山口支部の中電への工事申請は9月181件、前年同月304件。太陽光発電への申請32件、オール電化申請66件（前年は太陽光36件、オール電化50件）、LED街路灯への切替・新設申請は23件（前年は21件）であった。</p>	電気工事業
	<p>岩国地区を除いた工事量（施工及び発注量）の中弛み状態が続いている。“法定福利費を内訳明示した見積書の提出”については、全国展開しているゼネコンからは要請が出始めているが地元建設業者からの要請は殆どない。</p>	左官業
	<p>柳井地区は、前月同様、上関地区だけが中電関連の仕事があるだけである。建設業界では全国的に補正予算を要望する動きがある。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>2年継続の災害復旧工事も終了しており、10月の受注高は対前年同月比29%。今年度の累計は対前年比28%。</p>	土木工事業 萩市
	<p>ガードマン不足で仕事がなかなか進まない面はあるが、10月までは順調に発注がなされ、2月末の納期まで十分な仕事量を持っている。燃料費が下げ止まっており気持ち程助かっている。</p>	管工事業
運輸業	<p>10月連休前に長距離輸送車両不足となったが何とか対応出来、対前年同月比約8%の売上げ増となった。国内の需要は上向いており、輸出は横ばいからやや下降している。長距離ドライバー不足は解消されていない。燃料費は2.7円の値下げとなり、幾分か安心できるものの運賃の是正や、軽油引取税の見直しを希望する声がある。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>前年同月に比べ、自動車部品関連は横ばい、タイヤ関連は増加しているが、中国向け輸出関連の受注が減少しており、昨年並みは維持できそうであるが、先行き不透明な状況。乗務員不足と高齢化が深刻、</p>	一般貨物自動車運送業 防府市

<p>また、運賃の値上げの交渉をするが良い返事は得られず、乗務員の負担軽減に努めるとの返答があるのみの状況である。</p>	
<p>倉庫案件が好調であり、社内の設備だけでは足りないので社外に倉庫を借りて対応しており、運送案件は倉庫案件にセットでついてくるようなイメージである。公共工事の減少に伴い、ダンプトラックの運送の売上が低下している。燃料費はこのところずっと下げ止まりしている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
<p>組合の燃料価格は軽油1ℓ@88円、ガソリン1ℓ@128円の状況で有難いが、運送量が増加せず、ETC事業も9月分より少し多いぐらいに留まっている。運送業は国民生活に必要な物資の安定供給という重要な役目である為、安全運転の無事故運行で頑張っている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下関市</p>
<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲11.5%（平成27年9月1日～平成27年10月20日分）。9月1日～30日分は▲9.9%、10月1日～20日分は▲14.1%と大幅な減少となった。昨年は9月分が+3%、10月分が+6%だった事、タクシー事業が不況業種である事もあると思うが、基本的に地域経済が回復状態でない事を表していると思う。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域だが、9月分については、防府▲16%、周南▲7%、下松▲4%、光▲14%と防府、光地区が特別減少している。主要燃料であるLPGは、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、為替が少し円高になり、ブタン、プロパンのCPが前月分よりもさらに下がり（前年775\$/トンが今年355\$/トン）購入単価は先月よりも安くなった。前年度が高騰していたこともあり、前年10月分に比べ29%安価になっている。車両代や整備費用が上昇しているなか、燃料費が下がるのは大いに助かっている模様。7月中旬から売上高の減少が続いており、平成24年6月のような大幅減少の再来になりつつあり、年末の繁忙期が大いに懸念される。売上の減少に比例して乗務員の収入も減少しており、乗務員確保がたいへん難しい状況が続く、稼働台数も減少している。中国経済の低迷など、大手輸出産業にも陰りが見え始め、国内の個人消費は改善されないまま再びデフレスパイラルの状況に陥る事が懸念される。年金の実質減額や消費税増税など、低所得者の負担が多くなる事ばかりで、個人消費はますます減少すると思われ、地方の経済は、ますます厳しい状況になるように思われる。</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>

	先月よりは売上高があがったものの、やっと以前の低い水準に戻っただけという感じである。	港湾運送業
--	--	-------